

病院名	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			その他
	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground roud/他施設 からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション 列2	システム改善への取 り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウ ト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	
練馬光が丘病院 総合診療科	ポートフォリオを用いた相互フィードバック、メンター制度、5分間レクチャー	MKSAP、EBMカンファレンス、臨床推論カンファレンス(English)、集中治療カンファレンス、老年医学カンファレンス、M&Mカンファレンス	クリニカルバンドルに関する単施設研究	朝回診、チームラウンド(毎日)	多職種カンファレンス(週2回)、合同勉強会、NST	各領域へのチェックリストの導入	外科合同カンファ、放射線科カンファ(それぞれ月1回)、血液カンファ(週1回)	地域連携勉強会(年2回)、遠隔テレビカンファ(久米島)	サインアウト制度(毎日17時に当直へ申し送り)、チーム制	戦略会議	ethics勉強会(月1回)・多職種カンファ	院外講師 招聘多数
	ポートフォリオ：毎週末にチームリーダーとそのチームのレジデントはポートフォリオを用いてふりかえりを行います。またその週に出たクリニカルクエストを確認します。	MKSAP勉強会：米国内科学会監修の内科専門医試験用問題集を用いて週1回勉強会をしています	医療の質の向上に寄与すべく、内科領域へのクリニカルバンドルの応用を検討するための前向き研究を行っています。	朝カンファ：毎朝8:10-9:00まで前日の入院全症例につきディスカッションを行います。	多職種カンファレンス：医師、看護師、リハビリ、MSWが集まり、それぞれの部門から問題点のある患者を共有し、皆でディスカッションを行い、スムーズな退院を目指します。	疾患ごとのチェックリストを導入し、診療の質の維持を目指しています。	外科合同カンファ：月1回外部講師の米国外科専門医をお招きし、問題点を抽出して複数症例のふりかえりを行い、そこから学ぶべきポイントにつき知識の共有を行う。	年2回、周囲の医療機関、開業医の先生をお招きし、合同で講演会、勉強会を開催しています	サインアウト：17時に日々'unstable'の患者につき当直医に申し送りを行う。申し送りはサインアウトシートに記入。	スタッフが定期的に集合し、教育方法、組織運営の改善のための話し合いを行う。またサイボウズliveを用いてオンラインで会議間も話し合いを深める。	ethics勉強会：終末期医療やcodeなどにつき実際のケースをもとにディスカッションを行う	日本、国外問わず多数の外部講師を招聘し、指導にあたっていただいている。
	メンター制度：レジデントには一人ずつメンターがつき、キャリア形成のお手伝いを行います。また、学会準備やプレゼン準備の指導、手伝いも行います。	EBMカンファレンス：JAMAのuser's guideに基づき、実際の症例からクリニカルクエストをPICOに落とし込み、文献検索を行った上で、文献につき発表、議論を行います。		チームラウンド：毎朝および毎夕にチームごとに病棟回診およびチャート回診を行って全患者のフォローをチーム全体で行います。	NST：医師、ST、栄養科が一体となり、入院患者の栄養介入を行います。		放射線カンファレンス：毎月1回、一つの疾患に的をしぼって、実際の症例をベースに読影のポイントにつきご教示いただく。	遠隔地テレビカンファレンス：Skypeを用いてカンファレンス参加、ふりかえりを行う	チーム制：全患者それぞれのチームでの診療を行う。主治医が外来・検査中はその他のチームメンバーが対応する。また平日に休みがとれるよう、チームで患者を把握、主治医が休日の際にはチームメンバーが代診を行う。			
	5分間レクチャー：朝カンファで話題にあがったクリニカルクエストに基づき、レジデントがそれを翌日以降の朝カンファレンスの最後に5分間で発表。いかにレクチャーを効率よくつくるか、プレゼンの方法なども同時に学ぶ。	臨床推論カンファレンス：実際の経験症例を臨床推論の形で共有します。その後、身体診察のセッションもあります。すべて英語で行います。					血液カンファレンス：血液疾患症例のレビューと血液内科非常勤医師によるクルズス					

